

平成20年度認定
ふくい伝統的民家



目 次

| | | | |
|----|---------------------|-------|-----|
| 1 | 「ふくいの伝統的民家」認定制度について | ----- | P 1 |
| 2 | 認定基準 | ----- | P 1 |
| 3 | 認定状況 | ----- | P 2 |
| 4 | 認定民家 | | |
| 1) | 典型的な町家型 | ----- | P 4 |
| 2) | 典型的な農家型 | ----- | P11 |
| 3) | 茅葺き民家 | ----- | P31 |
| 4) | その他地域固有の形態を持つ民家 | ----- | P31 |
| 5 | 用語解説 | ----- | P32 |

1 「ふくい伝統的民家」認定制度について

福井県では、平成18年4月1日より「福井県伝統的民家の保存および活用の推進に関する条例」を施行し、この条例に基づく施策の一つとして、「ふくい伝統的民家」認定制度を開始しました。

この「ふくい伝統的民家」認定制度は、所有者の申請に基づき県が認定を行うもので、伝統的民家に誇りを持って住み続けていただき、後の世代に継承していただくことを目的としています。

2 認定基準

県内のそれぞれの地域で受け継がれてきた「妻壁を柱と梁で格子状とした漆喰塗の切妻屋根の農家型の民家」や「格子戸等町家の伝統的意匠を基調とした切妻屋根の町家型の民家」等、外観が典型的な伝統的民家の基準を満たす木造建物または県の審査委員会が地域固有の伝統的民家と認めたもの。

典型的な伝統的民家の基準

— 典型的な農家型の例 —



〈屋根〉切妻屋根・瓦葺き（嶺北は越前瓦葺き）

〈妻壁〉束（柱）と貫（梁）の格子組および漆喰塗り様
小屋梁からは漆喰塗り様または木製板張り

〈下屋〉妻壁前面に瓦葺きの下屋

〈玄関〉地域の伝統的意匠を基調としたもの

— 典型的な町家型の例 —



〈屋根〉切妻屋根・瓦葺き（嶺北は越前瓦葺き）

〈外壁、軒裏〉地域の伝統的意匠を基調としたもの

通庇を設けたもの

〈開口部〉格子戸等町家の伝統的意匠を基調としたもの

軒高、軒出、庇の高さ、壁面線を街並みに揃えたもの

3 認定状況

平成20年度 「ふくいの伝統的民家」認定件数 181件

(内 訳)

| 市町別 | 計 | 年代別 | | | | 形態別 | | | | | |
|------|-----|----------|-------------|-------|----|------------|------------|-----|-----------|------------|-----|
| | | 明治 以前 | 大正 ~1945 | 1945~ | 不明 | 典型的 農家型 | 典型的 町家型 | 茅葺き | かぐら 建て | 妻入り うだつ | その他 |
| 福井市 | 32 | 8 | 8 | 15 | 1 | 32 | | | | | |
| 敦賀市 | 4 | 3 | 1 | | | 2 | 1 | 1 | | | |
| 小浜市 | 19 | 12 | 5 | 2 | | 2 | 17 | | | | |
| 大野市 | 3 | | 1 | 2 | | 3 | | | | | |
| 勝山市 | 43 | 13 | 16 | 13 | 1 | 31 | 12 | | | | |
| 鯖江市 | 35 | 13 | 6 | 15 | 1 | 35 | | | | | |
| あわら市 | | | | | | | | | | | |
| 越前市 | 23 | 4 | 7 | 11 | 1 | 22 | | 1 | | | |
| 坂井市 | | | | | | | | | | | |
| 永平寺町 | 9 | 3 | 5 | 1 | | 4 | 5 | | | | |
| 池田町 | | | | | | | | | | | |
| 南越前町 | | | | | | | | | | | |
| 越前町 | 4 | 1 | | 3 | | 4 | | | | | |
| 美浜町 | | | | | | | | | | | |
| 高浜町 | 4 | | 4 | | | 4 | | | | | |
| おおい町 | | | | | | | | | | | |
| 若狭町 | 5 | 5 | | | | | 5 | | | | |
| 合計 | 181 | 62 | 53 | 62 | 4 | 139 | 40 | 2 | | | |

(参考) 平成18年度～平成20年度 「ふくいの伝統的民家」認定件数 454件

(内 訳)

| 市町別 | 計 | 年代別 | | | | 形態別 | | | | | |
|------|-----|----------|-------------|-------|----|------------|------------|-----|-----------|------------|-----|
| | | 明治 以前 | 大正 ～1945 | 1945～ | 不明 | 典型的 農家型 | 典型的 町家型 | 茅葺き | かぐら 建て | 妻入り うだつ | その他 |
| 福井市 | 101 | 37 | 28 | 34 | 2 | 89 | 4 | 7 | | | 1 |
| 敦賀市 | 6 | 5 | 1 | | | 2 | 3 | 1 | | | |
| 小浜市 | 31 | 21 | 8 | 2 | | 5 | 26 | | | | |
| 大野市 | 33 | 10 | 12 | 10 | 1 | 14 | 16 | 1 | | | 2 |
| 勝山市 | 68 | 28 | 23 | 15 | 2 | 40 | 27 | 1 | | | |
| 鯖江市 | 55 | 24 | 12 | 17 | 2 | 48 | 5 | 1 | | | 1 |
| あわら市 | | | | | | | | | | | |
| 越前市 | 61 | 23 | 20 | 16 | 2 | 40 | 12 | 3 | | 3 | 3 |
| 坂井市 | 17 | 13 | 3 | 1 | | 1 | 7 | 1 | 5 | | 3 |
| 永平寺町 | 12 | 4 | 6 | 1 | 1 | 7 | 5 | | | | |
| 池田町 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 |
| 南越前町 | 8 | 8 | | | | | 4 | 4 | | | |
| 越前町 | 18 | 8 | 4 | 6 | | 16 | 1 | 1 | | | |
| 美浜町 | | | | | | | | | | | |
| 高浜町 | 34 | 22 | 9 | 2 | 1 | 12 | 21 | | | | 1 |
| おおい町 | | | | | | | | | | | |
| 若狭町 | 7 | 6 | | 1 | | | 6 | 1 | | | |
| 合計 | 454 | 211 | 126 | 106 | 11 | 275 | 137 | 22 | 5 | 3 | 12 |

4 認定民家

1) 典型的な町家型

〔勝山市〕

勝山市内に残る伝統的民家は、ほとんどが明治29年の大火後に造られたもので、特に本町通りには、大規模で整った表構え持つ商家が並んでいる。

283 勝山市本町 大正4年



284 勝山市沢町 大正4年



285 勝山市本町 明治27年



286 勝山市元町 昭和10年



287 勝山市本町 明治37年



288 勝山市沢町 明治17年



289 勝山市本町 明治後期



290 勝山市本町 大正9年



340 勝山市栄町 明治28年



341 勝山市沢町 明治21年



342 勝山市栄町 明治30年



343 勝山市栄町 明治30年



〔永平寺町〕

永平寺町の旧松岡町春日には、階高が高い、大正から昭和にかけて建てられた伝統的な表構えを持つ町家が点在している。

344 永平寺町松岡春日 昭和7年



345 永平寺町松岡春日 大正7年



346 永平寺町松岡春日 昭和5年



347 永平寺町松岡春日 昭和11年



348 永平寺町松岡春日 大正14年



〔敦賀市〕

敦賀市の市街地は第二次世界大戦時の空襲により多くの伝統的民家が失われたが、敦賀港の繁栄を示す旧大和田銀行本店の周辺には、戦火を免れた伝統的町家が残っている。

274 敦賀市川崎町 明治 15 年頃



〔小浜市〕

小浜市には、旧丹後街道沿いを中心に、市街地全域にわたって多くの伝統的町家の町並みが残っている。軒、下屋庇、袖壁といった町家の構成要素は基本的に嶺北の町家と同じだが、三丁まち、西組、中組、津島、遠敷等地区毎に特徴のある景観を呈している。

275 小浜市日吉 築 200 年程度



276 小浜市小浜玉前 築 100 年程度



277 小浜市小浜塩竈 昭和 33 年



278 小浜市小浜津島 築 100 年程度



279 小浜市小浜津島 明治 28 年



280 小浜市小浜津島 築 100 年程度



281 小浜市城内 昭和 8 年



282 小浜市城内 昭和 8 年



331 小浜市遠敷 昭和 6 年



332 小浜市遠敷 明治元年



333 小浜市遠敷 昭和元年



334 小浜市遠敷 明治初期



335 小浜市遠敷 明治元年



336 小浜市遠敷 明治初期



337 小浜市遠敷 明治初期



338 小浜市東市場 明治31年



339 小浜市遠敷 築60年程度



〔若狭町〕

若狭町熊川は、重要伝統的建造物群保存地区にも指定され、町並み保存に積極的に取り組んでいる。

旧若狭街道沿いには伝統的な表構えを持つ町家が軒を連ねており、旧街道の宿場町の面影をよく残している。

349 若狭町熊川 安政4年 <伝>



350 若狭町熊川 江戸後期 <伝>



351 若狭町熊川 江戸末期～明治初期 <伝>



352 若狭町熊川 明治20年頃



353 若狭町熊川 江戸後期 <伝>



2) 典型的な農家型

〔福井市〕

伝統的民家に茅葺きが取り入れられるのは明治以降で、主屋の間口は3~4間を基本とし、妻入り切妻造の形態が主体である。

福井市南部、旧清水町や旧美山町など中山間部では、切妻屋根の妻面を束と化粧貫で格子状に組んだ白壁の農家が美しい農山村景観を形成している。

291 福井市下河北町 昭和24年



292 福井市国見町 建築年不明



293 福井市合谷町 平成15年



294 福井市下苧生田町 昭和29年



295 福井市下苧生田町 昭和25年頃



296 福井市下苧生田町 築100年程度



297 福井市下筋生田町 築 120 年程度



298 福井市木田 昭和 3 年



299 福井市浅水町 昭和 7 年



300 福井市下筋生田町 昭和 25 年頃



301 福井市羽坂町 明治 33 年



302 福井市三十八社町 昭和 24 年



303 福井市三十八社町 昭和 37 年



304 福井市三十八社町 昭和 5 年



305 福井市生野町 昭和 10 年



306 福井市江端町 明治 38 年



307 福井市真栗町 大正元年頃



354 福井市開発 明治 37 年



355 福井市今市町 昭和 28 年



356 福井市今市町 昭和 27 年



357 福井市三十八社町 大正 2 年



358 福井市中荒井町 築 150 年程度



359 福井市南居町 明治 43 年



360 福井市上筋生田町 昭和初期



361 福井市下筋生田町 昭和 20 年代



362 福井市上筋生田町 昭和 25 年



363 福井市上筋生田町 明治中期



364 福井市清水山町 昭和 23 年



365 福井市杉谷町 昭和 23 年



366 福井市杉谷町 昭和 7 年



367 福井市杉谷町 昭和 26 年



409 福井市田治島町 昭和 30 年



〔永平寺町〕

永平寺町の集落には、間口 3~4 間の切妻屋根で、真壁の大きな妻壁を見せ、前面には出の深い下屋庇を設けるものが多い。また、主屋の片側には下屋庇と一体となった「つこのや」を介して土蔵が続き、独特の景観を形成している。

444 永平寺町京善 明治 38 年



445 永平寺町京善 明治



446 永平寺町京善 明治 38 年



447 永平寺町諏訪問 昭和 27 年



〔大野市〕

大野市の郊外には、切妻屋根の妻面を束と化粧貫で格子状に組んだ白壁の美しい農家が残っており、大野の農村風景を特徴付けている。

308 大野市西山 昭和 11 年



309 大野市下麻生嶋 昭和 36 年



310 大野市平沢領家 昭和 43 年



〔勝山市〕

勝山市の周辺集落には、平入りまたは妻入りの切妻造棧瓦葺で、周囲に下屋を回す大規模な農家が見られる。

妻面の意匠は妻入り農家の場合と同じであるが、2階を真壁の漆喰塗としているものが多く、また、正面下屋に式台形式の整った玄関を張り出しているものも多い。

311 勝山市平泉寺町 昭和 32 年



312 勝山市平泉寺町 昭和 25 年



313 勝山市平泉寺町 昭和 25 年



314 勝山市平泉寺町 昭和 27 年



315 勝山市平泉寺町 大正 7 年



316 勝山市平泉寺町 昭和元年



317 勝山市平泉寺町 平成 10 年



372 勝山市荒土町 大正元年



373 勝山市荒土町 昭和 28 年



374 勝山市荒土町 昭和 8 年



375 勝山市荒土町 建築年不明



376 勝山市野向町 明治20年



377 勝山市野向町 昭和12年



378 勝山市荒土町 昭和29年



379 勝山市荒土町 大正元年



380 勝山市荒土町 昭和29年



381 勝山市荒土町 明治21年



382 勝山市荒土町 昭和23年



383 勝山市荒土町 昭和 30 年



384 勝山市荒土町 昭和 20 年



385 勝山市荒土町 明治 21 年



386 勝山市荒土町 昭和 30 年



387 勝山市荒土町 昭和 25 年



388 勝山市荒土町 昭和 12 年



389 勝山市野向町 昭和 20 年



390 勝山市荒土町 昭和 10 年



391 勝山市沢町 明治30年



392 勝山市荒土町 昭和初期



393 勝山市荒土町 昭和10年



394 勝山市野向町 明治18年



395 勝山市野向町 昭和27年



〔鯖江市〕

鯖江市の郊外には、切妻造棧瓦葺で、前面に下屋を持ち、その上に白漆喰塗で、格子状に組んだ束と貫が織り成す美しい妻壁を見せる農家が見られ、背後の山並みや田園風景ともよく調和した農村風景を形成している。

また、旧北陸街道に沿った神明地区、立待地区には、町家に混ざって妻入り切妻造の農家型の民家が建ち並んでいる。これらの家構えは、通り沿いには生垣や板塀を設け、その内側に前庭を持つ家が多く、生垣や前庭の樹木の間に見え隠れする妻壁がよく調和した景観を形成している。

318 鯖江市舟津町 明治 40 年



319 鯖江市入町 昭和 29 年



320 鯖江市米岡町 昭和 29 年



321 鯖江市北野町 昭和 2 年



322 鯖江市南井町 昭和 16 年



396 鯖江市戸口町 昭和 25 年



397 鯖江市戸口町 昭和 47 年



398 鯖江市戸口町 昭和 30 年



399 鯖江市戸口町 平成 6 年



400 鯖江市中戸口町 昭和 37 年



401 鯖江市中戸口町 昭和 38 年



402 鯖江市中戸口町 明治 30 年



403 鯖江市中戸口町 平成 2 年



404 鯖江市中戸口町 明治 18 年



405 鯖江市中戸口町 明治 40 年代



406 鯖江市中野町 明治 5 年頃



407 鯖江市別司町 築 100 年以上



408 鯖江市別司町 築 100 年以上



410 鯖江市小黒町 築 120 年程度



411 鯖江市小黒町 昭和初期



412 鯖江市小黒町 昭和 30 年



413 鯖江市小黒町 昭和 34 年



414 鯖江市小黒町 文政年間 <伝>



415 鯖江市小黒町 昭和5年



416 鯖江市定次町 昭和33年



417 鯖江市定次町 明治24年



418 鯖江市熊田町 昭和33年



419 鯖江市寺中町 昭和15年



420 鯖江市和田町 明治40年



421 鯖江市河和田町 明治以前



422 鯖江市河和田町 建築年不明



423 鯖江市神明町 昭和 8 年



424 鯖江市小泉町 明治 30 年頃



425 鯖江市小泉町 昭和 30 年



426 鯖江市西番町 昭和 24 年



〔越前市〕

越前市の郊外には、切妻造棧瓦葺で、前面に下屋を持ち、その上に白漆喰塗で、格子状に組んだ束と貫が織り成す美しい妻壁を見せる農家が見られる。煙出しの越屋根を持つ切妻造と比較的新しい入母屋屋根の家屋が混在しているが、土蔵や長屋門も点在し、伝統的な農村風景を形成している。

323 越前市余田町 明治 20 年



324 越前市上太田町 築 80 年程度



325 越前市上太田町 昭和 24 年



326 越前市新町 昭和 8 年



427 越前市池ノ上町 昭和 26 年



428 越前市三ツ俣町 大正 14 年



429 越前市三ツ俣町 昭和 26 年



430 越前市三ツ俣町 昭和 37 年



431 越前市入谷町 大正 13 年



432 越前市余田町 昭和 26 年



433 越前市余田町 建築年不明



434 越前市余田町 昭和 30 年



435 越前市余田町 昭和 8 年



436 越前市余田町 昭和 5 年



437 越前市余田町 明治 45 年



438 越前市余田町 昭和 24 年



439 越前市余田町 昭和 35 年



440 越前市大虫本町 昭和 31 年



441 越前市大虫本町 大正 10 年



442 越前市本保町 昭和 25 年



443 越前市本保町 昭和 23 年



〔越前町〕

越前町には、切妻造棧瓦葺で、前面に下屋を持ち、その上に白漆喰塗で、格子状に組んだ束と貫が織り成す美しい妻壁を見せる農家が集中して見られる。

背後の山並みや田園風景ともよく調和した農村風景を形成している。

448 越前町岩倉 昭和 34 年



449 越前町岩倉 昭和 62 年



450 越前町笹川 昭和 23 年



451 越前町小倉 明治 25 年



〔敦賀市〕

街道沿いの宿場町だった葉原や新保では、昔は牛や馬を飼うための厩の機能・構造を持った民家が多く残っていた。今でもその名残りのある民家が残っている。

368 敦賀市葉原 築 230 年程度



369 敦賀市 大正 11 年



〔小浜市〕

嶺南地域の伝統的農家の妻面は、多段の梁（てんびん梁）と束立てで格子状に組み、白漆喰塗となっている。風上側の妻面は、この上に板張りとしているものが多い。

小浜市の郊外には、このような伝統的形態の農家や鉄板屋根をかぶせた葛屋くずやも見られ、伝統的な農村景観を形成している。

370 小浜市東市場 昭和8年



371 小浜市竜前 明治8年



〔高浜町〕

嶺南地域の伝統的農家の妻面は、多段の梁（てんびん梁）と束立てで格子状に組み、白漆喰塗となっている。風上側の妻面は、この上に板張りとしている例が多いが、2階部分を真壁または大壁で全面を白漆喰塗とした農家もあり、独特の農村景観を形成している。

327 高浜町中津海 昭和7年



328 高浜町菌部 昭和元年



329 高浜町東三松 大正5年



452 高浜町東三松 昭和2年



3) 茅葺き民家

330 越前市勾当原町 19世紀初め <伝>



453 敦賀市杉箸 天保以前 <伝>



4) その他地域固有の形態を持つ民家

454 越前市池ノ上町 築160年程度



〔注意事項〕

- 認定民家は個人の住宅等で、原則として非公開です（文化財関係等一部除く）。所有者等にご迷惑をおかけすることのない様お願いします。
- 記載されている建設時期は、所有者からの聞き取りによるものです。

5 用語解説

| | |
|--------------|--|
| うだつ (卯立・卯建) | 妻側の壁を屋根より高く突出して小屋根を付けたもの。 |
| オイエ | 民家において大戸口から入った取付きの一室。オエとも呼ばれる。 |
| ガッター | ミセの軒下に柱外側に軸吊されている縁台。普段使わないときは引き上げて収納するようになっている。揚見世・ぱったり床几とも呼ばれる。 |
| かぶと (兜) 造り | 寄せ棟造りの屋根の妻部分を垂直に切り落として、二階や小屋根に開口部を設けるようにした、養蚕を行なうために発生した造り。 |
| けぎよ 懸魚 | 建物の妻側において、棟木または桁の端に取り付ける装飾的な繰形のある板。 |
| こうがい 筭 | 板葺の庇の上に設けられる厚板を押さえる横木。 |
| こしやね 越屋根 | 棟の一部に設けられた開口部の上の小屋根。主として瓦葺屋根に見られるもので、煙出し、換気、採光のためのもの。 |
| しとみど 薮戸 | 町家において戸締りのためにはめ込む横戸。上から下に柱間に落とし込まれる場合と、下戸のみを落とし込み、上戸は外方または内側に吊上げて吊金具で留めておく場合とがある。 |
| せがい 船樑造 | 側柱上部から腕木を出して軒下に、舟の船樑に似た小天井を張ったもの。 |
| そでかべ 袖壁 | 2階建ての民家において、2階軒下の正面両側に建物から突出して設けられた壁。 |
| だしげた 出桁 | 腕木・片持ち梁などの先端に渡してある桁。腕木の場合は腕桁とも呼ばれる。 |
| つし (厨子) | 民家の屋根裏。草葺・板葺・瓦葺のいかににかかわらず用いられ、窓を持つ場合も持たない場合もある。床は、棧を渡し <small>むしろ</small> 篋を敷いただけのものから板張りのものまである。物置、蚕室、使用人の寝間などに用いられた。 |
| つのや (角屋) | 家屋の棟と直角に突出した別屋。 |
| でごうし 出格子 | 柱通りより外方に突出して造られた格子。 |
| のぼりぼり 登梁 | 木造の小屋組みにおいて傾斜して架けられた梁。通常は、屋根裏の空間を広くとるため一端を桁に、他端を地棟に架ける。 |
| はふ 破風 | 屋根の妻側についている合掌形の装飾板。また、その破風板のついていところ。 |
| まくいた 幕板 | 町家の正面において、軒先から吊束を下げ、横框を渡し板張りとしたもの。オダレ、幕架けとも呼ばれる。 |
| むす 起り | 上方に凸形に湾曲している曲線または曲面。 |
| むしこまど 虫籠窓 | 町家のつし二階正面窓に設けられている塗り格子の窓。 |

参考資料：建築大辞典（彰国社）

